

令和7年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 A

R7 年度個別学力検査等
英語 (A) 出題の意図

I (A)

スポーツへの参加による精神および社会性への影響をテーマにした論説文の一節をとりあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力を見る。ここでは一般とエリートの人々の比較といった全体的な構造を日本語に反映できているか、特に with OC (付帯状況) といった文法的な構造を正確に掴んでいるかがポイントになる。

I (B)

コミュニケーションにおける言語の社会文化的機能をパントマイムになぞらえた論説文の一節をとりあげ、指定された箇所を日本語で表現させることにより、その意味を的確に把握できることを確認する。実際のパントマイムを想像しながら、使われている表現の厳密さを理解したうえで、特に that 節の動詞 (trace) の目的語にあたる部分の内容を正確に表せる力がポイントとなる。

II

自然環境が本来担う防災・防護インフラストラクチャーとしての価値を主題にした社会経済的な論述をとりあげている。文中に出てくるやや高度な語句を文脈から類推する問題、文中で重要な意味を担う表現・概念の理解を問う問題、情報の展開を段階的に理解し本文の流れを整理した上で重要な論点を英語で表現する問題、文中のパラグラフ全体の理解を問う問題、内容を適切に理解し日本語で正確に説明することができるかを問う問題、本文全体の主旨を正確に理解する読解能力をみる問題などを通して、総合的な英語読解能力を評価する。

III

グラフのデータを読み解き、英語で説明したうえで、その状況を変える方法、または、そもそも変える必要があるかどうかについての自分の考えを、指定された語数の英語で述べる問題である。従来どおり、この問題 III は発信型問題となっているが、今年度は単なる自分の想像について書くのではなく、グラフのデータから読み取れる現実の問題について自分の考えを発信する問題となっている。

IV (A)

文章の「内容」と「形」について述べた論説文の一節をとりあげ、高校までで学習した語彙を用いて日本語の概念を適切な英語表現に置き換える能力をみる。こなれた日本語の表現を明瞭で自然な英語にするために必要な語彙力・文法力、そして文構造に注意を払いつつ論理的な英文を組み立てる力が求められる。

IV (B)

(イ) (文学部の志願者)

文学部志願者に関係の深い題材を扱った書物の中から、美しい話の締めくくり方について書かれた文章の一部を取り上げ、その内容を理解した上で、自然な英語で明確に表現するための語彙力や文章構成力を確認する。直訳では済ませることのできない日本語表現の意味を十分にくみ取って、平易な表現に置き換える工夫も必要となる。

(ロ) (文学部以外の学部の志願者)

「食」という身近なテーマについて哲学的に思索する文章の一部をとりあげ、その内容を、適切な語彙と正確な文法に基づいて自然な英語表現に置き換える能力をみる。日本語文章の主旨を正確に理解し、その内容をわかりやすい英語で表現する力が求められる。